

2020年9月11日

**2020年のPRI年次評価結果：
アムンディはすべてのカテゴリでA+（最高位）を獲得**

アムンディ・ジャパン株式会社

アムンディ・ジャパン（東京都千代田区、代表取締役社長：ローラン・ベルティオ）は、2020年の責任投資原則（PRI）の年次評価において、アムンディがすべてのカテゴリでA+（最高位）を獲得したことをお知らせいたします。

責任投資原則（PRI）の年次評価では、さまざまな資産クラスにわたり、ESG 統合フレームワークを展開するアムンディの継続的な取り組みを高く評価しています。

PRI は、アムンディに対し、すべてのカテゴリで最高のスコアである A + レーティングを付与しました。この結果は、アムンディの責任投資戦略、株式、債券、プライベートエクイティの資産クラスに ESG 基準を適用する能力、およびエンゲージメントと議決権行使ポリシーの国際的な認知を示します。これは、ESG 基準を投資プロセスと議決権行使ポリシーで主流にすることを目的としたアムンディのアクションプランの展開を証明しています。

アムンディは昨年より格付けを向上させ、今年初めてレポートしたプライベートエクイティセクションを含むすべてのモジュールで A + のトップスコアを獲得しました。

責任ある金融機関として行動することはアムンディの設立来の原則であり、アムンディの成長戦略の中核となる取り組みです。このコミットメントは、投資家が責任ある投資戦略を定義、実施することを支援するために、アムンディが開発した責任投資プロセスとソリューションの範囲に反映されています。

2006年のPRI創設当初からの署名機関として、アムンディはPRIの原則の実施に積極的に貢献しています。PRIの年次評価は、PRIの原則が投資戦略にどのように組み込まれているかを評価することを目的としており、署名機関による責任投資の状況を、経年で、さまざまな資産クラスにわたり、ローカル・グローバルレベルの同業他社と比較するものです。

責任投資原則（PRI）について：

PRI は、国際連合が支援し、環境、社会、ガバナンス（ESG）要因の投資への影響を理解してこれらの要因を投資および所有権の決定に組み込む際に、投資家の署名者の国際ネットワークをサポートするために機能するグローバルなイニシアチブです。2006年にニューヨークで開始されたPRIは、署名機関は50か国以上で3,000を超え、その運用資産総額は100兆ドルを超える規模に成長しています。

2020年PRI年次評価サマリー

評価モジュール	当社への評価	評価中央値
01 ストラテジー&ガバナンス	A+	A
10 上場株式 — インコーポレーション	A+	A
11 上場株式 — アクティブオーナーシップ	A+	B
12 債券 — 国債等	A+	B
13 債券 — 社債・金融	A+	B
14 債券 — 社債・非金融	A+	B
16 プライベートエクイティ	A+	A

アムンディについて

アムンディはフランス・パリに本拠を置き、世界 6 都市の主要な運用拠点^{※1}を通じて約 190 兆円^{※2}の資産を運用する、欧州 No. 1^{※3}、世界トップ 10^{※3}の資産運用会社です。2015 年 11 月ユーロネクスト・パリ市場に上場し、世界 37 の国・地域の事業拠点で競争力の高い運用ソリューションを提供しています。アムンディの一貫した目標は、日本でもグローバルでも、お客さま本位のビジネスの実行で、個人投資家および機関投資家に対し、革新的で透明性の高い運用ソリューションの提供に努めています。

アムンディ 信頼されるパートナー

日々、お客さまと社会のために

公式ウェブサイト：amundi.co.jp

- 1 主要運用拠点：ボストン ダブリン ロンドン ミラノ パリ 東京（アルファベット順）
- 2 運用資産額は、2020年6月末日現在。約1兆5,920億ユーロ、1ユーロ=121.08円で換算
- 3 出所：インベストメント・ペンション・ヨーロッパによる資産運用会社トップ500社（2020年6月版、2019年12月末の運用資産額）に基づく。

本件に関するお問合せ先：アムンディ・ジャパン株式会社 広報室
 e-mail：pr@jp.amundi.com
 直通：03-3593-5700/9019

R2009019